

平成30年度奥州市水道事業キャッシュ・フロー計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位 円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	148,274,146
減価償却費	1,263,296,402
固定資産除却費	23,501,160
繰延勘定償却	4,993,115
引当金の増加額	2,055,709
長期前受金戻入額	△ 273,235,420
4条特定収入消費税費用化額に対応する長期前受金収益化額	△ 8,247,340
受取利息及び受取配当金	△ 2,409,650
支払利息及び企業債取扱諸費	286,999,205
業務活動による未収金の増加額	△ 21,659,132
業務活動による未払金の増加額	44,901,350
たな卸資産の増加額	△ 7,336,010
その他流動資産の増加額	△ 1,634,092
その他流動負債の減少額	<u>△ 36,819,880</u>
小計	1,422,679,563
利息及び配当金の受取額	2,409,650
利息の支払額	<u>△ 286,999,205</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,138,090,008

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出	△ 1,111,980,180
固定資産の売却による収入	0
国庫補助金等による収入	111,339,097
国庫補助金等の返還による支出	0
投資活動による前払金の増加額	△ 168,054,000
投資活動による未収金の減少額	21,294,969
投資活動による未払金の増加額	<u>31,609,025</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,115,791,089

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

一時借入れによる収入	0
一時借入金の返済による支出	0
建設改良等企業債による収入	452,700,000
建設改良等企業債の償還による支出	△ 974,186,196
一般会計からの出資による収入	<u>361,425,317</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 160,060,879

資金減少額	△ 137,761,960
資金期首残高	<u>2,104,246,943</u>
資金期末残高	<u><u>1,966,484,983</u></u>

※ 資金期首残高には、前沢地域の旧簡易水道事業分の資金残高29,491,611円を含んでいる。